

香川用水施設緊急対策事業に係る事前評価（農業用水）第1回委員会 議事概要

- 1 日 時：令和元年6月19日（木）14:30～16:00
- 2 場 所：水資源機構 香川用水管理所 会議室
- 3 対象地区：独立行政法人水資源機構事業 香川用水施設緊急対策地区
- 4 委 員：石井 里津子：石井事務所 編集者
角道 弘文：香川大学創造工学部 教授
亀山 宏：香川大学農学部 准教授
佃 俊子：香川県生活研究グループ連絡協議会 会長
諸泉 利嗣：岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授
- 5 議 事：

香川用水施設緊急対策事業に係る事前評価（農業用水）第1回委員会を開催し、令和2年度事業着手予定地区である独立行政法人水資源機構事業「香川用水施設緊急対策地区」に係る事前評価資料について審議した。

質疑応答の概要は以下のとおり。

（委 員）二次災害危険度の評価を実施するにあたり、定量的な設定基準があるのか。

（機 構）香川用水施設が家屋や重要公共施設に近接するなど、影響を及ぼす恐れにより評価しているが、人命への影響は、時間や場所等に被災想定が困難であるため定量的な設定基準は設けていない。

（委 員）PC管の劣化要因として、地下水等の影響が考えられるとのことであるが、そのような影響のある場所に管を再び布設する計画で問題ないか。

（機 構）本事業では、鋼管を既設管の中に新設することになるため、周辺の環境にも耐えられると考えている。

（委 員）コスト削減策として取水工や開水路に関するものはないのか。

（機 構）事業費に占める割合が大きい高瀬支線水路に係るコスト削減策を記載しているが、他の施設においても、実施設計段階で新技術の活用等によりコスト削減策の検討をおこなうこととしている。

- (委員) 作物生産効果について、年効果額を評価期間一律で見込んでいるが、県が農業生産額について下がっていく予測を示している場合は、効果に見込むべきではないか。
- (機構) 農水省の土地改良の効果算定マニュアルに沿って効果を算出しており、本事業の効果算定への反映は難しい。ご意見として伺い、農政局と情報を共有する。
- (委員) 事業の目的として施設の維持管理の費用と労力の軽減を謳っているのに対し、維持管理費節減効果ではマイナス効果となっている。事業の実施による維持管理費軽減のメリットが見えるように工夫できないか。
- (機構) 現況維持管理費と事業ありせば維持管理費との比較であれば、維持管理費節減によるプラス効果が計上されている。ただし、維持管理費節減効果の算出にあたっては、事業なかりせば維持管理費と現況維持管理費との差をマイナス効果として計上するため、結果として維持管理費節減効果がマイナス表記されることとなっている。
- (委員) 新規地区採択に係るチェックリストの妥当性を確認することが、本委員会の責務だと考えているが、香川用水の重要性を鑑みると、本事業については、是非採択頂きたいと考えている。
- (機構) 採択されるかは明言できないが、令和2年度の着工を目標に調整を進めていく。
- (委員) 今後、他の施設の劣化によって今回のような対策が必要になるのか。
- (機構) 香川用水施設全体の機能診断を実施しており、定期的に施設の劣化状態を把握している。今後、劣化の進行が確認され対策が必要になった場合は、関係機関と協議して検討していく。

以上